

大きなかぶ



NO.42 2014年 4月

発行 特定非営利活動法人アビリティクラブたすけあい
昭島たすけあいワーカーズ 大きなかぶ
理事長 坂元 泰子

〒196-0025

昭島市朝日町 1-4-12 マルマンビル 201

TEL 042-545-0890 FAX 042-519-5891

E-mail: act21-ookinakabu@tune.ocn.ne.jp

大きなかぶ設立、もうすぐ 20 年 認知症とのかかわりも 20 年

このところ「認知症」に関する研究が進みテレビでもよく放送されています。さらに驚くことは多くの方がそのテレビを見ているという事です。いかに「認知症」についての関心が高いのかが分かります。

私もケアマネジャーの仕事に就いてからもうすぐ5年になりますが、実際、当初に比べて認知症を患っている方の依頼が多くなっています。日本の人口の16人に1人が認知症と認知症予備軍という事になり、超高齢化社会の日本では、ほとんど誰もが認知症の方々にかかわることになります。

言うまでもなく「認知症」は病気です。決して性格が意地悪になったのではありません。直前の記憶がなくなるために自分でも訳が分からない状況が頻発し、ハラハラドキドキの不安な毎日が続きます。そこから「物盗られ妄想」が出てくる場合もあります。

周りの人が本当のことを話して、納得してもらおうとすればするほど、本人の心は傷つき、家族を「ドロボー!」と思い込みます。お金ばかりではなく洗濯洗剤、頂き物のきれいな包装紙までが盗まれたと思います。

そして後日、戸棚からその包装紙等が出てきても、自分がしまい忘れたことにはならず、自分は意地悪をされ馬鹿にされていると感

じて、プライドが傷つき被害妄想に陥ります。家族の「説得」も効果はなく、さらに事態は悪化するのです。このような認知症状の方を介護するご家族の苦労は大変なものです。

しかし一方で、認知症状は進んでいても、混乱がほとんど起きていない場合もあります。この違いは「環境」にあるといわれています。暑い寒いなどの物理的環境はもちろんですが、一番影響するのは「その人を取り巻く人間関係とその対応」なのです。とりわけ否定的に対応する環境では、感情を刺激し過敏に反応するようです。

以上から認知症の方々の混乱を抑え、地域で安定した生活が出来るかどうかは、周囲の関わり方次第であるという事になります。今後、認知症の方々を地域で支えるためには、認知症へのかかわりかたを理解し実行することが、いかに重要かを実感しています。

認知症の方々に接する度に 20 年前の大きなかぶの設立趣旨「老いても障害を持っても住み続けられる地域づくり」の重みを考えさせられる毎日です。

居宅介護支援事業所管理者 上田 桂子



大きなかぶは東京都認証の特定非営利活動法人です。

皆様の賛助会費と寄付に支えられ、地域貢献活動を行なっています。

ご寄付ありがとうございました

木下様 島本様 青柳様 浅井様 上田様 平野様 牧野様 松崎様 他3名様

デイサービス 大きなかぶ



利用者さんの希望をヒントにして卵の殻を張り付けて富士山を作りました。富士山の裾野から角凧が大空に舞い上がり、新春の風に遊んでいます。

お正月といえば？ の 答えに
「1 富士！ 2 太郎 ???・・・」と声が上がった。 気を取り直して「1 富士 2 鷹 3 なすび !!!」それから「凧」「羽子板」「だるま」といろいろでした。



「この鬼の衣装は誰が着るの？私着たいわ！」利用者さんより興奮し、やる気満々の職員。花紙を丸めて作った豆を鬼にぶつけて「鬼は外！」退散したかと思いきや、優しい鬼はアメ玉を置いて行ってくれました。

八百屋お七もまっさお！
狂おしいほどに妖艶な夜桜風景
力を合わせた見事な力作完成



昭島市社会福祉協議会主催のサロン関連活動に参加しました

「サロンを始めたかと思
っている方へ」(学習会)
ミニデイおしゃべり広場
の活動を紹介しました



2月13日

1月28日



サロン見学会
川崎市と世田谷区のサロ
ンを2か所見学しました。

大きなかぶデイサービスちょっと自慢の昼食です



毎日を元気に過ごすには食事をおいしく、楽しく戴くことが重要です。

デイサービス大きなかぶでは毎日バランスの良い食事をおいしく楽しく召し上がって戴けるよう工夫をしています。

管理栄養士(かぶメンバー)が、季節や利用者さんの状況に配慮したメニューを考え、3人の調理担当者が腕を振っています。

基本的にお米と調味料は、生活クラブ生協の安全安心の消費材を使っています。全食材を生活クラブ生協で賄うことは難しいですが、挽肉や魚の切り身、おやつ類もかなり利用しています。

中でも昆布や煮干しで本格だしを取った味噌汁、澄まし汁は味が良いと好評。味はもちろん、見た目も大切。目と口で楽しんで、元気の源になってもらえるように頑張っています。

野菜が多いのも特徴で、「家ではこんなにたくさんの野菜は食べられないわね」「味は薄めね。お醤油が欲しいところだけど、このままがいいのよね～」と利用者の皆さんに喜ばれています。



調理参加型の行事食もあります。見た目が少し変わるのも楽しいものですが、昔を思い出しながら作るみなさんの笑顔にメンバーみんなが癒されます。

今年の節分は、みなさんの希望で手巻き寿司で厄除けを行いました。

「お寿司」は皆さんの 大、大、大好物。昨年敬老の祝い膳の握り寿司は、「何年ぶりかしら」と大好評。お雛祭りのチラシ寿司はひし形にしてみました。お誕生会には、お赤飯を添えた松花堂風弁当も好評です。

ACT会員のサークル活動

いきいきサークル「ラディッシュの会」



水色のシャトルバスに乗って、うきうき気分ビール工場に到着しました。作り立てはこんなに違うんですね、うま〜い！おしゃべりに花を咲かせていると、たちまち「タイムリミットですよ」

それからまた同様のバスに乗り府中郷土の森へ。ワーカーズ「腕もあ」のお弁当は、居場所づくりや、デイサービスにかかわっているメンバーには良いヒントをもらいました。郷土の森は梅まつりの最中、小雨に香る紅白の梅の花に春の訪れを感じました。

地域でのたすけあい

あなたの参加が地域の力になります

メンバー募集中
楽しく・気ままに・面白くをモットーに
活動しています。
気軽に参加してください！

ミニディ「おしゃべり広場」

活動アラカルト

精神障害者ボランティア 「グループ・モモ」

そば打ち体験 3月



皆でこねます



うまく切れましたね～

完成です



まだまだこねます



畳んで切ります



今度は伸ばします



ハーモニカを聴きながら

手作り大福



味噌作り



ランチ&ランチ



クリスマス



ちらし寿司

みんなの居場所☆菊地さんち



切って、こねて、
ちぎって、炒めて
最後に煮込んで、
でき上がり！

菊地さんち
de
クッキングNo3



昔のすいとんとはちよ
っと違う、
具たくさんのごちそ
うになりました。
皆で食べれば、さらに
ごちそう！



すいとん作り 3月9日

